



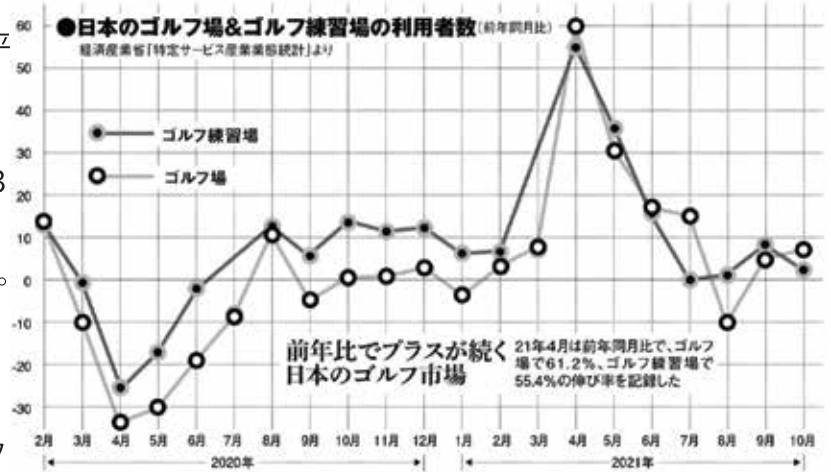
コロナ禍で増加する女子ゴルフ人口



先日、健康法師に連れられ、1年ぶりにゴルフ練習場に行ってきました。93打席ある練習場ですが、日曜日の午後7時頃でほぼ満席。陣取った2階打席には、20代～30代とみられる若者がちらほら、しかも全組男女のカップルで練習をしていました。

日本のゴルフ人口は最高潮だったバブル期(平成元年)で1200万人、その後年々減り続け、2019年には580万人と半数以下まで落ちこみました。しかし、コロナ禍で一転、ゴルフは「3密」を避けられる身近なレジャーとして注目され、若い世代を中心に増加傾向にあるとのこと。

驚きなのは、コロナ禍でゴルフを始めた女子人口の多さ！矢野経済研究所の独自調査によると2021年3月にコロナ禍で約25万人がゴルフを新たに始め、そのうち44%が女性であると算出しています。通常ゴルフ人口の中で女性が占める割合は15%前後といわれているので、コロナ禍の新規ゴルファーの女性比率の高さは異常！



【女子ゴルフ人口の増加の理由は？】

①女子プロの活躍

渋野日向子選手の全英オープン優勝や小祝さくら選手、原英莉花選手など「黄金世代」←22～23歳、引き続き、プラチナ世代と言われる18～20歳代が優勝する。しかも普通の女子と変わらない体格のプロが…。ゴルフの腕だけでなく、タレント顔負けの華やかさも話題に！

②女性用ゴルフグッズの充実

女性ゴルファーの増加に関係して、女性向け専用設計クラブの充実、ファッション性豊かな服や小物グッズの充実。

③新しいプレイスタイルを押し出すゴルフ場の増加

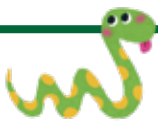
昼食をとらずに通して18ホールスループレー、半分の9ホールのハーフプレー、2人だけの2サムプレイ。夫婦やカップルで気軽に、拘束時間を少なく、予算を抑えたプレイスタイルを積極的に展開するゴルフ場が増加。

他にも、ゴルフ場によっては①「NOドレスコード」で堅苦しいイメージを払拭し、②グリーンへの移動を手軽にできるようセグウェイを導入、③ゴルフ場内でフードトラックによる軽食の提供。after コロナ時代の合コンは「グリーン上で。」が主流になる日も、今後あり得るのではないのでしょうか。『ゴルフは勝負や！握りの…』と正統派ゴルファーを自任する健康法師は、この傾向を嘆いておりますが…。

ここにでてこないのが、LPGAの樋口会長(日本初の女子プロ女王)の努力が結実した点です。10年にわたって女子ジュニアの育成や、プロゴルファーの教育指導をして、興行としての女子ゴルフ界を意識充実させてきました。プロになったら、人に見られることを意識させ、トークの仕方や化粧に至るまで合宿で詰め込みます。これが女子プロの圧倒的人気を下支えしているわけです。



原英莉花選手



『アニマルカフェで絡まれない』



自粛生活が続く、自宅で過ごす時間が増えた結果、癒しを求めてペットを飼う人が増えたとのこと。日本ペットフード協会によると、特に猫を飼う人が増え、猫関連商品の需要の高まりで、2021年のペット市場は前年比4.3%増の1.5兆円に成長したそうです。環境省のデータでは、住宅事情などで猫を飼いたくても飼えない人に人気の猫カフェも2005年の3店舗から今では300店舗以上と100倍に増えています。

心齋橋周辺にもアニマルカフェがあり、私も以前から飼いたかった動物に触れ合いに行ってきました。本社から歩いて10分ほどのアメリカ村にある『スネークカフェ』。お店に入ると、大小カラフルな蛇様たちが個室のケースで客待ち中でした。初回入店料1,000円を支払って会員になり、オール1,000円のドリンクを1杯注文すれば、何時間でも滞在OK。2回目からは、ドリンク代のみで楽しめます。絡みたい蛇様を指名すると店員さんがケースから出して手や肩に乗せてくれるので、指名した子と自由に過ごせます。他に好みの子を見つけたら、何度でもチェンジできるので、好きな子と好きなだけ時間を過ごせる楽園です。



私も早速好みの子を試着。まずは、ブレスレットのような細身の「コーンスネーク」ちゃん。いたずら好きな彼女は袖から服の中に入ろうと何度もトライ。ちょっと落ち着きがないので、今度は物静かな「ボールパイソン」ちゃん。アルビノ種の彼女は色白のお肌に、つぶらな赤い瞳がチャーミング。私の上半身を自由に這いまわり、最後は腕に巻き付いて大きなあくびの後、腕に顎をのせてリラックス。彼女たちの滑らかで少しひんやりとした肌の美しさに癒された1時間でした。

あまりの可愛さに「飼いたい!」と思ったのですが、彼女たちの食事に問題が…。食事回数は10日に1度、1回の食費も100～200円程度と犬猫に比べると食費も安価なのですが、食べるものがマウス一匹。冷凍庫にマウスを常備し、解凍したマウスを手で食べさせる勇気がないので、会員になってカフェで絡むことになりました。



会員証 GET !

健康法師の独り言 パート 114

絶対に避けたい「認知症」…デカ袋、出します!

昨年の12月に母(90歳)を亡くしましたが、マザコン(母の影響を強くうけている様)の私だったはずが、父の時とは違って、全く泣くことも悲しむことも無かったです。1年以上にわたって母の認知機能はほぼなく、居ながらにして居ないという状況だったからでしょう。むしろ、ホッとしたという具合が不思議でした。

88歳でもバンバン活動しているゴルフファーもいる一方で、75歳で明らかな認知障害が出てくる方もいるようで、かなり個人差は激しいようです。70歳になると急激に活動が低下し、血流が阻害され、これを放置してしまつて認知障害へまっしぐら! ということが多い様です。

ボケ散らかすと家族にも世間様にもご迷惑をかけるが、本人はどうなんだろうかなあ…? でも、醜態をさらしたくはないのは誰も一緒と思うわけです。皆さん、70歳を過ぎれば認知症予防を実践してゆかねばと思いません。

再三ご案内しております『ゴボウ茶』。血管をやわやわにして、毛細血管にまで血流を流し込み、認知症予防には最適です。通信記事119号にご案内した通り、アンチエイジング専門医・Dr近藤和雄がポリフェノールと食物繊維の対認知障害有効性への有用性を説いておられます。

長々と生涯にわたってゴボウ茶を飲み続けてください、習慣化してください。そのために大袋を用意してお安く提供することとしました。(この値上げの時代に…)健康法師を信じて、すでにへビユーラスをなさっている方が何人もおられます、ありがとうございます! 目指せ! ぴんぴんコロリ!



編集後記

皆様、今回の通信はいかがでしたでしょうか。スネークカフェは私も一緒に行ってまいりました!最初は蛇に抵抗があり、トカゲと戯れていましたが、店員さんのすすめで、大蛇を首に…ドキドキでしたが、意外にも可愛いと思ってしまうました。ただ、アニマルカフェくらいの距離感がベストな動物だと思いました~黒木

